



母校の創立100周年を2年後に控え、各界でご活躍の卒業生の方々に学生時代の思い出などを綴っていただき、創立100周年の機運を高めていきたいと思ひます。往時を懐かしく思ひ出し、またこれからの住高の飛躍に思ひを馳せ、創立100周年を迎えましよう!

## 100周年に際して

左藤 恵 (中15期)

住吉高校が2年後に創立100周年を迎えますこと、誠にお目出度いこととお喜び申し上げます。

私が旧制住吉中学に入ったのは、戦前の昭和11年で太平洋戦争が始まる前でした。中国へ進軍、進軍と若者が出征していった時期でありました。

機関銃をかついで真冬に金剛山の頂上でテントを張って休みましたが寒くて眠れなかったことを覚えております。翌日、空に向かって機関銃を撃たされ、学校に帰ってからは遅くまで銃の掃除をさせられ、不充分だと何回もやり直しをさせられました。

当時は軍事教練ばかりで勉強はさせてもらえませんでした。そして、戦争が終わるまでに多くの仲間が戦死されました。

今日の平和な時代を生きる方々には、存分に勉学に励んでいただきたいと願っております。

さとう めぐむ: 学校法人大谷学園 学園長 / 大正13年2月生まれ。京都帝国大学法学部法律学科卒業後、逓信省入省。郵政大臣、法務大臣、国務大臣を歴任。昭和44年衆議院議員初当選以降連続当選10回(平成12年退任)。平成8年春勲一等旭日大綬章受賞



## 思い出のお化け屋敷 研究企画第1号 生田 幸士 (高24期)

「リーダーは君ですか？」中会議室に入ると、待ち構えた左近先生(国語)から詰問された。「今までどこに行っていたんですか?」「大和川までスキを取りに」「リーダーは部屋に居ないとダメじゃないですか」「みんな嫌がるので、リーダーがすべきと思って」「解りました。戦国時代の大將は陣地から出ないで指揮を執るでしょう?」「でも宇宙大作戦のカーク船長は一番最初に惑星に転送降下します」「それは映画だからあ!」「・・・」  
クラス単位の文化祭企画として、ア

ポロ月到達の1年では「文学における月と人類」を、2年では「心理学を用いたお化け屋敷」を私が提案。両者とも全員の賛同を得たが、クラブ活動で多忙なのか実際に作業をする生徒は半分以下。段ボールで作るお化け屋敷の通路壁の形状とサイズをユニット化し、グループ毎の最低作製枚数と締め切りを決め、分担作業を猿並みに単純化。文化祭前日はほぼ徹夜して完成した。

秋晴れの文化祭当日、作業をさぼっていた生徒達も来て、通路壁の上から釣り竿でぶら下げたコンニャクで客の首筋に触れたり大活躍。心理学はともかく文化祭一の盛況。制服廃止直後でミニスカート姿の3年女子が落ちたコンニャク踏んで派手に転倒。「責任者呼べー!」。リーダーが引っぱり出され、しおしおと謝罪して何とか一件落着。この「文化祭男」は後年、大学での学生達との研究生活の原点となった。

いくたこうじ: 東京大学・名古屋大学名誉教授。大阪大学医学部招聘教授。スターリサーチ機構代表 / 大阪大学で金属工学科と生物工学科を卒業、東工大 森政弘教授門下に入り、世界初の医用ロボットで工学博士。日本で職が無くカリフォルニア大学研究員。

名古屋大教授を経て東大教授。住高生の東大見学会や出前授業、昭和メニューを楽しむ住高食堂同窓会、北畠サロンの企画提案者。

